

きらめき 上條小



校長室だより

No. 10

泉大津市立上條小学校

校長 西鍵 利一 2013.11.15.



淡くたおやかな秋が、急ぎ足に通り過ぎ去ろうとしているように感じる朝、冷んやりとした空気の中を元気に登校してくる子ども達。いつものように門に立って子どもたちを迎えていると・・・“校長先生！これ！”と1年生の女の子のちっちゃい手が差し出されたので、“うん？・・・”と見ると、そのちっちゃい手がそっと開いたそこには、もっとももっとちっちゃい種が3つぶ、ありました。“これ、どうしたん？”て聞くと、“来る途中にあってん”“何の種？”“あさがお！”なるほど、色、形は朝顔ですが、米粒ぐらいの小さな小さな種でした。“えっ、くれるん？”“あげる！”“ありがとう!!”小さいけれど、これもまた“命”それをしっかりと握りしめて・・・暖かくなれば蒔いてあげようと思います。その頃にはこの女の子もより成長してくれているでしょうね・・・。(^ _ ~ v

修学旅行見聞録



いつもの日程だったら台風の直撃を受けていたのが、他の行事の関係で1週間遅らせていた修学旅行に、10月31日～11月1日に行ってきました。偶然選ばれた2日間は、これ以上無い最高の秋日和でした。まず最初の目的地の名古屋港水族館(左横写真)では、美味しいお弁当を食べ、イルカショーに感激し、珍しい魚に目を丸くして、次の目的地の常滑焼の方円館に向かいました。そこで未来の巨匠目指して作陶(右下写真)。説明を聞いてから粘土と格闘するも悪戦苦闘！私もいっしょに作ったんですが、はてさて出来上がりはいかが？！後日、釉薬も塗って焼き上げてから送られてきます。乞うご期待！かな？。そして、再びバスに乗り、宿舍の鯨亭に到着。部屋に入って着替えを済ませてから先ずは夕食。それこそご馳走山盛り！昔の民宿の修学旅行だったら、こんなにもご馳走は出なかったのにな。それでも普段から給食で完食をむねとしている子ども達、かなりの子が完食していたのはさすが！そしてこれからがいよいよナイトフィーバーの始まり始まり～！まずは入浴と待ちに待った買い物。ホテル1階の臨時の土産物売り場は、ビッグバーゲンセール状態。澄んだ目を輝かせては、真剣に品定め。その視線の先には、きっと家族への思いがいっぱい溢れているのでしょうか・・・。その目を、どうかいつまでも大切にしてほしいと思いました。そしていよいよ真打ち登場となります。そうナイトカーニバル！オーディションの難関を突破したスペシャルエンターテナー達が、これでもかと踊り！歌い！演じ！魅せてくれるのです。もうその熱気！迫力！は半端じゃない！しかし、私が一番感





動したのは…演技の中でミスもトラブルもあったのに、誰一人として茶化す者がいなかった、いえそれどころか、何とかもっと盛り上げようとしてミスを包み込むような声援、応援をしてきていたことでした。我を忘れるほど舞い上がっている最中でも、人としての思いやり、仲間意識をしっかりと持っていて

いたことです。もちろんこれは先生方の指導の賜物ですが、まさにこれが上條の子ども達のすばらしさと改めて感じました。全ての写真を披露できませんので、精鋭達の記念写真を掲載します(左上)。こうして一日目が最高潮の盛り上がりの中、過ぎていきました。(次回にツツク)



芸術の秋満載！各種展覧会入賞者のみなさんです。おめでとう！

J A 書道コンクール

【半紙】**金賞** 笹倉 堇(3年)、**銀賞** 緒方晴斗(1年)、長谷川結菜(4年)、**銅賞** 濱田亜美(2年)、永田大実(3年)、岡本舞音(5年)、

【条幅】**金賞** 肥田直子(6年)、**銀賞** 濱田未悠(1年)、**銅賞** 松本有咲(1年)、松本隼平(4年)、

MOA美術展



【絵画】**産経新聞社賞** (3年) 永田大実、

金賞 (1年)尾ノ上礼音、(3年)和田 拳、坂本朋仁、(4年)濱田優菜、(5年)浜田泰誠、

銀賞 (1年)東條郁也、住谷花夏、(3年)東花大樹、松葉久起、小塚陽生、是常明人、中村隼人、池田夢愛、横山雄大、(4年)森本 遥、片芝千春、(5年)岡村 周、柘田睦生、川口智也、大橋泰紀、(6年)池 琉之心、岡本 楽、

銅賞 (1年)平家善男、八久遥愛、外村汐音、中塚実里、山田敦己、大倉花楓、山下 楓、高浦地央、貫野 凜、濱田未悠、森本正哉、阪井凜太郎、(2年) 植木絵梨佳、(3年)福島凜太郎、角田未来、(4年)大山歩夢、田邊娑稀、上木天翔、(5年)與能本匠悟、辻野裕己、前田圭晴、田村穂貴、辻野翔大、乾原祥太、浜田隆太郎、金原 凜、奥原大賀、中村玲菜、今井琴音、(6年)浅野光祐、山本果林、中田竜暉、川口裕大、谷 久留美、北田昂生、平川由菜、川上果帆、棕本聖歌、平尾紗弥、辻 笙

【書写】

銀賞 (3年)中野鈴音、笹倉 堇、(6年)市田芙雪、

銅賞 (1年)吉倉里奈、川畑沙紀、(2年)北野翠れん、(3年)小寺結葉、(4年)岩元花音、白澤綺弥莉、(5年)岡本舞音、(6年)古城大悟、



防火図画コンクール



泉大津市長賞 (1年) 飯坂真生、**教育長賞** (1年)小杉隆之介

協会長賞 (1年) 船谷冠太、

佳作 (1年) 貫野 凜、豊島一勇凜、山田進助、吉倉里奈、大中実菜、

長谷川航大、山本愛花、屋良朝継、入江虎太郎、山田敦己、



ねこものがたり⑤ PART2 ～ノラの悲しみ～



PART1では、たくさんのノラたちのことも書いてきました。そんな中の1匹に“ノラクロ”がいました。もちろん命名の理由は、ノラクロという漫画の主人公のネコによく似てたから！でした。ノラクロに似ている以外、特に印象に残っているというのではありませんでしたが、いつもおとなしく、エサをあげるとガツガツというふうでもなく、静かに食べていました。左の写真の手前がワッカちゃん（たぶんベベのお母さん？）で、奥に小さく写っているのがノラクロです。

もう、少し時間が経ってしまいましたが、9月の終わりごろのある日のことでした。夜にいつものように我が家の5匹にゃんこ飯をあげて、ノラたち4匹にエサをあげようと外に出たときでした。

“…!!!…?”そこにノラクロがいたのです。それこそノラたちは、ワッカちゃんもそうですが、入れ替わり立ち替わりって子もいて、急に姿を見せなくなったり、急に登場したりということは珍しいことではありません。しかし、！この時のノラクロは違っていました。何が？…それは、写真でもわかるように、ネコの止まっているポーズは何パターンかあって決まっています。ところがこの時のノラクロは…お腹を地面に付けて、両手はやや前に、そして後ろ足は両足とも後ろにまっすぐに伸ばしたまま…というおよそネコの止まっているポーズではない格好だったのです。ただごとではないのはそのポーズを見てすぐに分かりましたが、側に寄って更にその身体のひどい汚れ具合で重症度が伺えました。ネコはきれい好きな動物です。暇さえあれば毛づくろいをして、身体の手入れをします。ですから、これだけ汚れてしまってるというのは…“どうしたん？…何があったん？…”と、身体に触れようとすると、ゆっくりですが動こうとします。“ごめんごめん!もう触らへんよ…”何か少しでも食べたなら元気になるかな？ひょっとして食べる元気もないかな？とにかく何か…まず牛乳を温めて口元に置いてあげました。そしてペットショップに車をとばして行って、子ネコ用のエサで、口当たりの良さそうなのを数種類買ってきました。そして器に入れて、これも口元に置いてあげました。食べて!!…祈るような想いで見ていると、力なくですが、首を持ち上げて、牛乳をなめるよう飲んで、やわらかい子ネコ用のエサも少しずつですが食べてくれました。

“よかった…!!!…がんばって食べてな、そして体力つけて元気になってな…!”寝る前にもう一度見に行くと、なぜかさっきとは場所を移動していたんですが、エサは少しですが食べてくれていましたので、もう一度、口元に置いてあげました。そして翌朝、どうしたかな？って見てみると…もうそこにはノラクロの姿はありませんでした。それから3日後、再び同じように玄関先にやってきました。目が合ったその目は何か潤んでいるようにも思えました。3日間、子ネコ用のエサを毎日毎日新しいのと換えては置いてあげたんですが、おそらくほとんどは他のノラたちが食べてしまったようでした。精

気の失せたノラクロに、また温かい牛乳と、食べやすいエサを置いてあげるしかできませんでした。それがノラクロを見た最後でした。それから、3日経っても、1週間経っても、もう姿を見ることはできませんでした。あの2日間の訪問は、何だったのでしょうか？…私へのお礼に？それともお別れに？何もしてあげられなかったことに、言いようの無い無力感に苛まれました。Part 1 ではベーちゃんが、同じように、血だらけになって最後のお別れに来てくれて、またノラクロが…。ノラの宿命なんでしょうか…わかってはいるんですが…。どうかどこかで奇跡が起こって元気でいてくれたらと、かすかな望みをたくして…。しかしノラの悲劇はこれでおわりませんでした。(ツグク…)